

シブヤとのつながり カタログ

vol. 2

つながり

つながり

SHIBUYA

つながり

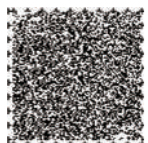
Connect with SHIBUYA

あらゆる人が、

自分らしく生きられる街へ

つながり

SHIBUYA

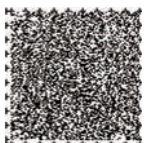


渋谷区 福祉部 障がい者福祉課
障がい者福祉施設係

TEL 03-3780-9656 / FAX 03-5458-4935
<https://www.city.shibuya.tokyo.jp>



渋谷
ちがいを
ちからに
変える街

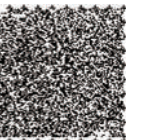




Connect with
SHIBUYA

誰もが笑顔になれる社会には未来がある

百人百様、社会はいろいろな人で成り立っています。
障がいのある人たちの働きたいという思いに向き合いながら活動している渋谷区内の障がい者支援事業所を紹介します。
彼らが生み出す作品や商品が
そして、働くことで得られる彼らの思いが
福祉の現在と未来に新しい光をもたらしています。



障がい者支援事業所とは

障がいを抱えながらその人らしい生活が送れるように、生活支援、生産活動を通じた就労支援などを行なっています。障がいの程度、お住まいのエリア、作業内容などで、選んで通勤をしています。

就労継続支援A型(雇用型) (A)

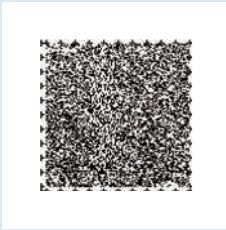
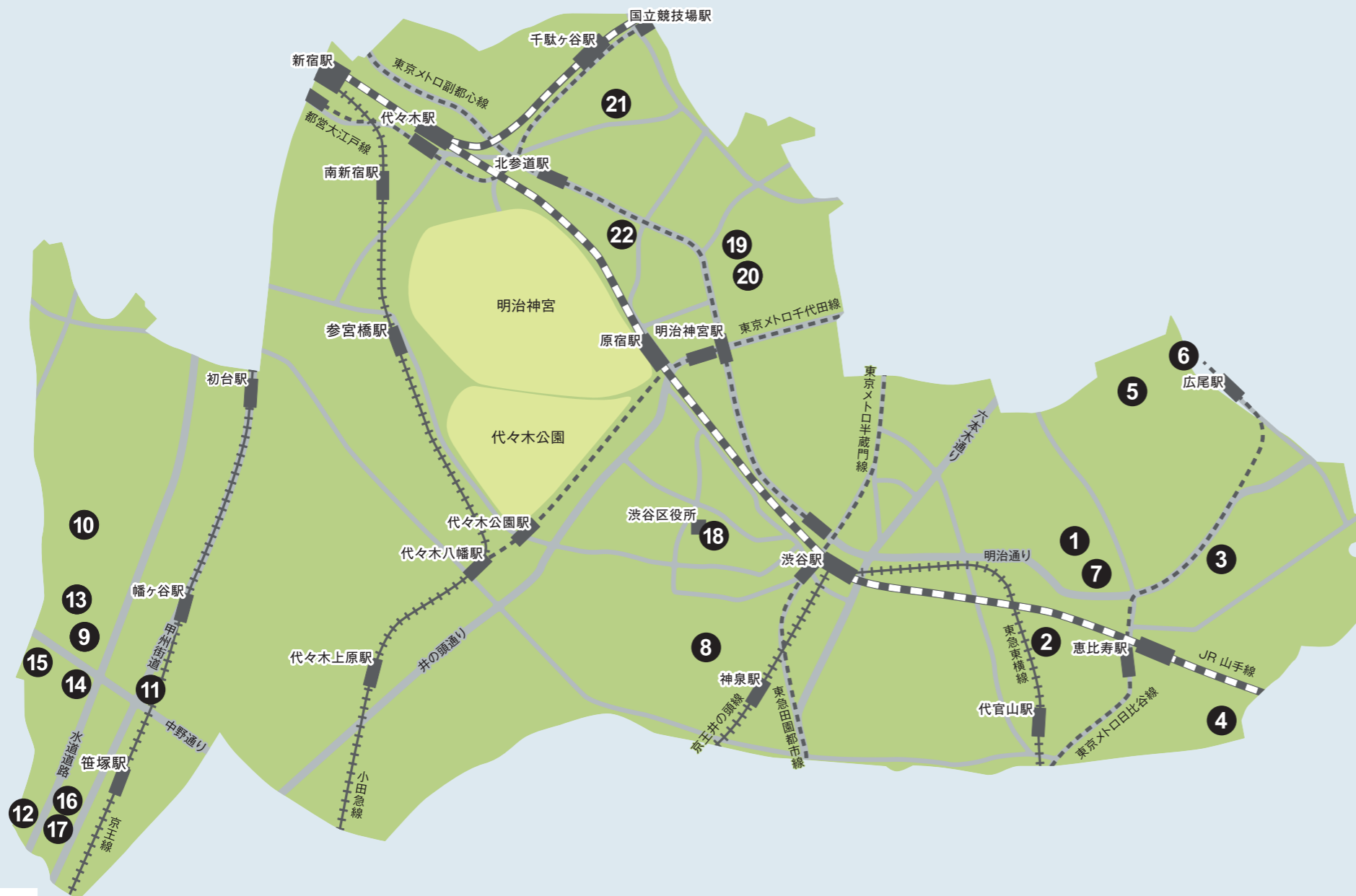
障がいのある人が、雇用契約を結んだ上で一定の支援がある職場で働くことができる福祉サービスです。雇用契約に基づく生産活動の機会の提供、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な支援を行います。

就労継続支援B型(非雇用型) (B)

年齢や体力、障がい特性により、雇用契約を結ばずに生活支援や就労支援を受けることができる福祉サービスです。生産活動及びその他の活動の機会の提供や就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行います。

生活介護事業 (生)

常に介護を必要とする障がいのある人に対して、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として、入浴・排せつ・食事などの介護、創作活動・生産活動の機会を提供し、社会参加と福祉の増進を支援します。



特集1: スペシャルインタビュー

「地域と、人と、つながること。」

りばあさいど原宿 / 笹塚十号のいえ P.5

特集2: 自主製品・施設紹介

「ものづくりで、社会へつながる。」

P.7

地域別施設紹介 P.9

- 1 おかし屋ぱれっと/工房ぱれっと (B)
- 2 渋谷区くるるえびす (生)
- 3 渋谷区立新橋作業所 (B)
- 4 すみれ工房 (B)
- 5 日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾 (生)
- 6 広尾ジョイワーク (B)
- 7 ワークセンターひかわ (B)

渋谷 8 ストライドクラブ (B) P.16

若手福祉職員をつなぐ 次世代ネットワーク vol.1 P.17

- 9 渋谷区生活実習所つばさ (生) P.18
- 10 渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所 (B)
- 11 TEN TONE (B)
- 12 福祉作業所ふれんど (B)
- 13 むつみ工房 (B)
- 14 ワーク&ショップはらっぱ (B)
- 15 ワークささはた (B)
- 16 ホープ就労支援センター渋谷 アトリエ福花 (B)
- 17 ホープ就労支援センター渋谷 渋谷まる福 (A)
- 18 ホープ就労支援センター渋谷 渋谷ハチ公そば (B) (渋谷地区)

若手福祉職員をつなぐ 次世代ネットワーク vol.2 P.27

- 19 渋谷区障害者福祉センター はあとびあ原宿 (生)
- 20 渋谷区りばあさいど原宿 (生)
- 21 みどり工房 (B)
- 22 ローランズ原宿店 (A)

シブヤフォントとは? P.32

地域と、人と、つながること。



D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)が 当たり前の風景になる社会を目指して

—— Seamless Support Labs 原宿(りばあさいど原宿)

通称キャットストリート(旧渋谷川遊歩道)に面する「Seamless Support Labs 原宿(りばあさいど原宿)」は、新しい形の障がい者施設として注目を浴びています。同施設を運営する社会福祉法人・睦月会の綿祐二理事長にお話を伺いました。

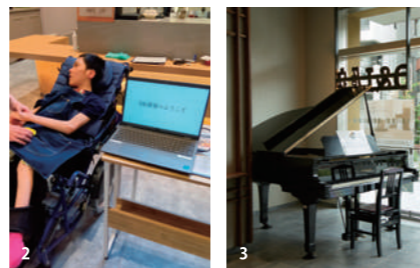
この施設の1階には、カフェ「D&I 原宿」があります。このカフェのコンセプトは、「ダイバーシティ&インクルージョン；多様な人が集まり、当たり前に包括する」です。利用者はここで食事をとり、その横で、当たり前で近隣地域の人、会社員、学生、外国人が食事をしている……ここでは、日常の何気ない風景です。

カフェには定番のパスタやハンバーグなどのほか、普段、利用者が食べている給食メニューを、1日10食限定で「日替わりメニュー」として提供しています。カロリーコントロールもでき、さらに食事形態(刻み食やペースト)を変えることもでき、地域の高齢者などに毎日好評をいただいています。

さらに、このカフェは、生活介護の利用者の働く場でもあります。カフェにお客様が来た際、車椅子に座った利用者が手元のボタンを押し、「いらっしゃいませ」の音声とモニターに表示された文字でお迎えするという仕組みです。生活介護事業所で工賃5万円を目指して、頑張っています。「D&I 原宿」を訪れる人々は、ここを普通のカフェだと思っています。この建物には、どこを探しても「障がい」や「福祉」という言葉はありません。「障がい」「福祉」という言葉がバリアを作ってしまうからです。インクルージョンの理念は、元々分けることをしないことが前提にあります。ですから「当たり前のことを当たり前」をモットーに運営をしています。

この施設は、1歳児から成人までの児童発達、放課後等デイサービス、生活介護、機能訓練、クリニックなどの福祉・医療事業が展開され、ライフステージを切れ目なく(Seamless シームレスに)支援を行っています。

ライフステージをつなぐことで、将来の生活設計や人生サポートを実践しています。「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)が当たり前の風景になる社会」を実現する次世代型の施設運営を目指しています。



1. 3階にあるインクルージョンガーデン。隣接する渋谷区立保育園との境界線を設けず、保育園の子どもたちと同じ空間を共有している。2. 施設の利用者が働く1階のカフェ。3. 店内ではグランドピアノによる生演奏も。ピアノはストリートピアノとして誰でも弾くことができる。4. カフェの顔となる入り口のサインには、シブヤフォントを採用。地域とのつながりの窓口に

Seamless Support Labs 原宿 (渋谷区りばあさいど原宿)

渋谷区神宮前3-18-33
電話：03-5843-0751 FAX：03-5843-0732
E-mail：shibuya@mutukikai.or.jp



福祉と社会とのつながりが、
日常の「当たり前」であること。

商店街に誕生した 屋根のある公園

—— 笹塚十号のいえ

笹塚駅から徒歩数分、十号通り商店街にある笹塚十号のいえは、複数の民間団体が協働運営する地域福祉拠点。地域の人々がゆるくつながり、支え合うことができる場所を作った、一般社団法人TEN-SHIPアソシエーションの戸所信貴代表理事にお話を伺いました。

2024年2月にオープンした笹塚十号のいえは、友達同士でお茶をしたり、持参したお弁当を食べたり、誰もが好きなように過ごせる場所です。たとえば、ご近所の高齢者たちがお茶をしている横で、小学生たちが遊んでいるといったように、世代も立場も関係なく、いろいろな人が活用してくれています。

私は以前、地域包括支援センターに勤めていましたが、そのときに感じたのは都市部では地域のつながりを持ちにくいということ。風邪や腰痛で寝込んだ場合、昔ならば近所の人から代わりに買い物をしてもらうこともあったのですが、今はそうしたつながりは持ちづらい。その結果、孤立する人が増え、最悪の場合は孤独死につながります。

笹塚十号のいえがある場所は元は八百屋でしたが、廃業後、障がい者福祉、高齢者福祉、

フードバンク、大学など、専門性の異なる複数の団体が家賃を分担し、それぞれの得意分野を活かした活動の拠点となりました。

私は八百屋というのは福祉だと思えます。「今日は暑いね」とか「子どもが大きくなった」といった会話があり、街の人たちの交流の場となっている。元々あった八百屋は、この土地で98年も商売をしていましたが、閉店した今も同じ場所で街の人々の交流が続いています。

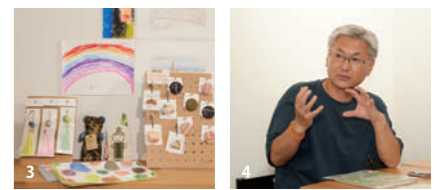
たとえば、「最近、あの人が来ていない」など、常連の人たちが私に相談にきてくれて、心配して自宅を訪ねたら、病気で寝込んでいたこともあり。そんなふうには、笹塚十号のいえは気にかけてくれる「もうひとりの家族」がいるような場所になってほしいと思っています。

また障がいをきちんと理解してもらえなかった人が、ここに来るようになって「こういう障がいのある人だったんだ」と理解、承認され、つながりができたというケースもあります。そうやってここは、いろいろな人の居場所になっています。

笹塚十号のいえでは、地域住民や大学生による演奏会イベント、子ども向けのワークショップなど年間120回ほど、さまざまなイベントを行っていますので、まずは気軽に遊びにきてください。

笹塚十号のいえ

渋谷区笹塚2-41-18
営業時間：火・木・土曜 11:30～18:30
<https://www.instagram.com/sasazuka10ie>



1. 「笹塚十号のいえ」には、「お留守番さん」と呼ばれる10名ほどのボランティアが交代で常駐している。この日は森下さん(左)が事務局の吉川さん(右)と一緒に迎えてくれた。2. 壁に貼られた七夕飾りに願い事を書く地域の子もたち。この壁は地域の人の展示や季節のイベントなどで活用され、利用者のコミュニケーションツールのひとつとなっている。3. 店内では近隣の福祉事業所や地域の人たちの作品が並び、販売されている。4. 「笹塚十号のいえ」について語る一般社団法人TEN-SHIPアソシエーション代表理事の戸所信貴さん

つながりカタログに掲載する全22事業所の自主製品や事業所内の様子がわかる一覧です。各事業所についての詳細は、掲載ページまたはWebサイトでご確認ください。

恵比寿・広尾



1 おかし屋ぱれっと / 工房ぱれっと

掲載ページ P.9
HP: <https://www.npo-palette.or.jp/work>



2 渋谷区くるるえびす

掲載ページ P.10
HP: <https://www.yuaigakuen.or.jp/office/kururu-ebisu>



3 渋谷区立新橋作業所

掲載ページ P.11
HP: <https://shibuyaswc.jp/jusan/shinbashi>



4 すみれ工房

掲載ページ P.12
HP: <https://sumire222.jimdofree.com>



5 日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾

掲載ページ P.13
HP: <https://hiroo.jrc.or.jp>



6 広尾ジョイワーク

掲載ページ P.14
HP: <https://www.fukudenkai.or.jp>



恵比寿・広尾



7 ワークセンターひかわ

掲載ページ P.15
HP: <https://www.workcenter-hikawa.org>



渋谷



8 ストライドクラブ

掲載ページ P.16
HP: <https://strideclubwana.wixsite.com/strideclub>



笹塚・幡ヶ谷



9 渋谷区生活実習所つばさ

掲載ページ P.18
HP: <https://shibuyaswc.jp/jusan/tsubasa>



10 渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所

掲載ページ P.19
HP: <https://shibuyaswc.jp/jusan/nozomi>



11 TEN TONE

掲載ページ P.20
HP: <http://tentone.tokyo>



12 福祉作業所ふれんど

掲載ページ P.21
HP: <http://friend-kizuna.com>



笹塚・幡ヶ谷



13 むつみ工房

掲載ページ P.22
HP: <https://mutsumi-kobo.com>



14 ワーク&ショップはらっぱ

掲載ページ P.23
HP: <https://harappa.peewee.jp>



15 ワークささはた

掲載ページ P.24
HP: <http://worksasahata.com>



16 ホープ就労支援センター渋谷アトリエ福花

掲載ページ P.25
HP: <https://www.instagram.com/atelierfucca>



17 ホープ就労支援センター渋谷渋谷まる福

掲載ページ P.26
HP: <https://marufuku.org>



渋谷



18 ホープ就労支援センター渋谷渋谷ハチ公そば

掲載ページ P.25-26
HP: <https://hopewwj.org/works>



千駄ヶ谷・原宿



19 渋谷区障害者福祉センターはあとびあ原宿

掲載ページ P.28
HP: <https://www.yuaigakuen.or.jp/office/heartpia-harajuku>



20 Seamless Support Labs インフィニティ (渋谷区りばあさいど原宿)

掲載ページ P.29
HP: <https://www.mutsukikai.jp>



21 みどり工房

掲載ページ P.30
HP: <https://npyoridori.wixsite.com/npyoridori>

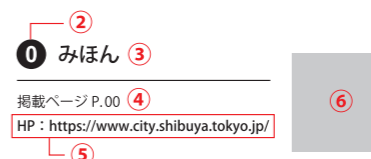
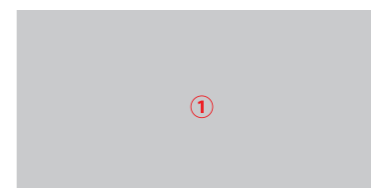


22 ローランズ原宿店

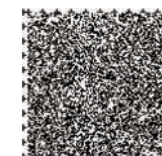
掲載ページ P.31
HP: <https://lorans.jp>



事業所一覧の見方



- ① 自主製品または作業や日常の様子
- ② つながりMAPに掲載されている番号
- ③ 事業所名
- ④ 掲載ページ
- ⑤ 事業所・運営団体のHPまたはECサイト等のURL
- ⑥ HPにつながるQRコード



おかし屋ぱれっと／工房ぱれっと

取扱商品 焼菓子・雑貨

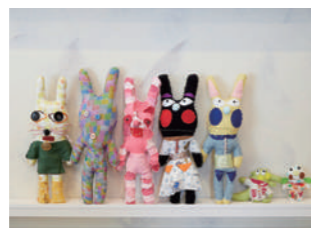
事業区分 就労継続支援B型



自慢のチームワークで焼き菓子の大量生産にも対応



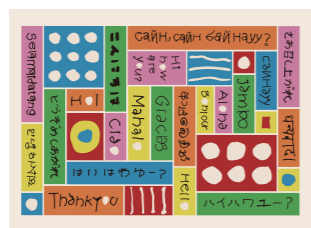
みっくすクッキーに入れるレーズンを刻む。集中力と根気が必要な作業です



作り手によって表情や衣装はさまざま。一日に3~4体仕上げる人もいます



手描きのイラストをあしらったボックス入りクッキーは贈り物に好評です



おかし屋ぱれっと／工房ぱれっとはシブヤフォントに参加しています

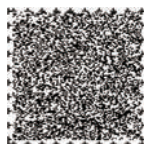
おかし屋ぱれっとは1985年に恵比寿にオープンして以来、国産小麦・三温糖など素材の風味を活かしたクッキーやパウンドケーキを焼いています。保存料は使用せず、着色料や添加物を含む材料も極力控え、安心安全なお菓子作りにこだわっています。おすすめは、長年愛され続けている「みっくすクッキー」です。

おかし屋ぱれっとで働くメンバーのチームワークはピカイチ。材料の計量、攪拌、成形、焼成、袋詰め、道具の洗浄など、声を掛け合いながら、メンバーが任されたそれぞれの役割で力を発揮してひとつの商品ができ上がります。わたしたちの強みはこのチームワークで少量から大量生産まで対応できること。約30種類の焼菓子があり、企業や催事での出張販売、遠方への配送も可能なのでご相談ください。また、コーヒーやお茶を楽しみながら商品を購入いただけるお店も併設しています。

2013年には新しくハンドメイド雑貨やアートを手がける工房ぱれっとを始めました。「らぶらび」(写真右上)は作り手の自由な発想で一体一体手作りしている世界にひとつのうさぎのぬいぐるみです。こうした商品を通じて、工房ぱれっとで働くメンバーの個性や人柄をお客様に伝えたいと思っています。近年は展覧会への参加やワークショップの開催にも力を入れています。海外での活動もあり、アーティストとして活躍するメンバーも出てきました。

問い合わせ先

渋谷区東2-11-4
TEL/FAX: 03-3409-3774
E-mail: okashiya@npo-palette.or.jp
HP: <https://www.npo-palette.or.jp/work>



渋谷区くるるえびす

取扱商品 アート・雑貨・ハーブ・葉野菜

事業区分 生活介護



創作活動で、自分らしい色をみつけられる場所を目指して

わたしたちの施設名は「色彩」「色どり」を意味するフランス語「クルール」に由来し、彩り豊かでそれぞれの色を持った、さまざまな人が来る、集まるといった意味が込められています。

わたしたちの活動の柱は、大きく3つです。1つ目の創作活動では、利用者の個性を活かした絵画や刺繍、紙工芸などを制作しています。2つ目は園芸活動で、施設内で水耕栽培を行い、育てたハーブや野菜を地域のマルシェで販売し、利用者が味わう機会も提供しています。3つ目の運動活動では、ダンスやウォーキングを取り入れ、利用者の健康維持にも力を入れています。

絵や刺繍、紙工芸などの創作活動では、職員が適度にサポートしながらも、できるだけ利用者の自由な発想を尊重します。

そして、1年に1度の「くるるアートくるる見学会」では、これまでの作品を展示、製品の販売も行います。地域の人々との交流を生み、利用者自身も「自分の作品を見てもらえた」と実感する機会として、利用者や地域の人からも好評です。

自由で心地よい空間の中で、他者や地域とつながり「その人らしい生き方」を一緒につかっていきたいと思っています。



繰り返し筆を動かし、独特の雰囲気の商品が生まれます



ダンス活動では、月2回、専門講師にレクチャーを受けています



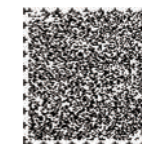
ミシン掛け紙封筒(2枚入) 300円
アイロンビーズチャーム 500円



くるるえびすはシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区恵比寿西2-13-5 3F
TEL: 03-6277-5807 FAX: 03-6277-5937
E-mail: kururu.ebisu@bz04.plala.or.jp
HP: <https://www.yuaigakuen.or.jp/office/kururu-ebisu>



社会福祉法人渋谷区社会福祉事業団
渋谷区立新橋作業所

取扱商品 軽作業

事業区分 就労継続支援B型



簡易作業をこつこつと、正確で丁寧な作業が売り



手際よく作業を進めます



一人ひとりの得意な作業を見つけ出し、
 分担して作業をしています



職員が開発した手作りの荷台が大きく
 リニューアルし、用途が広がりました



再度発注したくなるような正確で丁寧
 な仕事を心がけています

新橋作業所は、印刷関連企業などからの受注で、パンフレット・冊子の丁合、封入、封かん、宛名・シールなどのラベル貼り、包装、タオルのポリ袋入れなどの簡易作業をしています。自主製品はありませんが、正確さと丁寧さが売りです。各通所者に適した作業方法を見出し、それぞれに合ったペースで作業をしています。個性を持ち味ととらえ、作業の速さや量をこなすことは求めず、こつこつと努力を積み重ねていくよう伝えています。この毎日の積み重ねが、正確でスピード感ある作業につながっています。

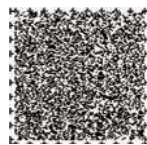
通所者は、毎年の目標工賃を自身で設定し、結果として、より高い工賃が達成できればよいという考え方です。仕事を通して、仲良く、楽しい職場づくりを心がけています。

社会の一員として、自宅や地域でより快適に生活していけるよう、作業所での作業指導・生活支援だけでなく、気がついたことは、きちんと丁寧に、そして根気よく伝えるようにしています。また、注意を払う必要があることは、「何のために何を行うのか」を職員全員で共有し、統一した対応ができるようにしています。

地域の高齢者のみなさんも同じ職場で働いていて、仕事や休憩時間での会話などの交流で、互いによい影響を与えています。「作業所に通うことが楽しい!」とってもらえることを目指す、そんな少しおせっかいな作業所です。

問い合わせ先

渋谷区恵比寿1-27-10 新橋区民施設4F
 TEL: 03-3444-5541 FAX: 03-3444-5542
 E-mail: shinbashi01@shibuyaswc.jp
 HP: https://shibuyaswc.jp/jusan/shinbashi



NPO法人すみれ福祉会
すみれ工房

取扱商品 軽作業・焼菓子

事業区分 就労継続支援B型



お客様の「おいしかった!」がみんなの励みに

すみれ工房は病気や障がいがあっても、社会参加を目指す仲間と共に、作業やレクリエーションを通して、地域で自分らしく暮らしていく力や生活力を高めていくことを目的としています。

恵比寿で30年以上、アットホームな環境づくりに努めてきました。活動内容は、お菓子の製造、公園やビルの清掃、室内軽作業など多岐にわたります。

お菓子作りでは、パウンドケーキやクッキーを中心に、定番商品や季節限定商品を製造・販売しています。未経験から始める人が多いですが、スタッフのサポートで道具の扱いや作業のコツを身につけ、衛生面にも配慮しながら取り組んでいます。お客様の「おいしかった」などの声が励みとなっています。

清掃活動は、公園など地域の環境を整える大切な役割を担っており、気分転換やよい運動にもなります。暑い日や寒い日、雨の日でも無理のない範囲で取り組み、終わったあとの達成感や爽快感も魅力のひとつです。

室内作業では、切手の仕分け・貼り付け、カプセルの中身入れ・テープ貼り、箱の組み立て・シール貼りなどを行っており、どの作業も自分のペースで取り組めるよう工夫しています。

また、作業以外にも、音楽やヨガ、外出行事、ミーティングなどをメンバーと話し合いながら企画・実施しています。



1年を通じてコツコツと清掃に励んでいます



予算に合わせて箱詰めが可能です。
 ギフトにも利用されています



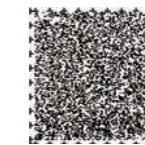
チーズをたっぷり混ぜこんで焼き上げた、
 甘じょっぱさが癖になるクッキーです



カプセルに商品を詰めています。他にも
 いろいろな作業を行っています

問い合わせ先

渋谷区恵比寿南2-23-12 エビスサニービル2F
 TEL: 03-6303-2441
 E-mail: sumire_koubou22@yahoo.co.jp
 HP: https://sumire222.jimdofree.com



事業区分 生活介護など



アットホームな環境で、一人ひとりの思いを活かす生活を



運動会/競技の内容、ルールに工夫を加えています



外出行事/大好きな野球観戦中です



創作活動/壁画制作工程、方法を考えます



集中力も発揮されるスポーツ活動

日本赤十字社が運営するレクロス広尾は、一人ひとりの思いを大切に、健康に笑顔で生活できるよう、日中活動の支援および生活援助を行っています。入所者10人、短期入所利用者1人を定員とする小さな事業所なので、とてもアットホームな環境です。

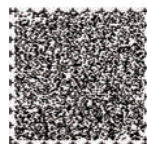
みなさんの特性や思いを鑑み、機能維持を図りながら、関心があること、好きなことに取り組む生活を送ることができるよう支援を行っています。

日中活動内容としては、カラオケ、ボッチャ、ストラックアウト、創作活動、クッキングなどの活動を、一人ひとりの身体状況、ペースに合わせて参加できるよう方法を工夫しながら提供しています。また、センター全体での夏祭り、近隣保育園との運動会、クリスマス会、初詣など年間行事を行い、日常生活の中でイベント性を重視。施設外の方との交流の機会も作っています。

外出行事では、みなさんの要望を取り入れたうえでコースを考え、公共の交通手段も利用し、施設外での体験をしていただいています。興味のあるものを見たり体験したりすると、日頃以上の笑顔が見られ、「良かった」「楽しかった」という感想が多く聞かれます。行事企画はみなさんが社会とのつながりを感じながら、生活そのものに意欲を持つことができる機会になっていると思います。

問い合わせ先

渋谷区広尾4-1-23
TEL: 03-6861-4800 FAX: 03-6861-4810
E-mail: hiroo@hiroo.jrc.or.jp
HP: https://hiroo.jrc.or.jp



取扱商品 軽作業・雑貨

事業区分 就労継続支援B型



20代前半が中心の明るく元気で楽しい職場

広尾ジョイワークは、定員15人の小規模な作業所で、利用者は20代前半が中心。毎日がワイワイと明るく元気で楽しい職場です。「自分らしく楽しんで仕事をする」ことを大切に、利用者一人ひとりが自身の得意な作業に自分のペースで取り組んでいます。

作っているのは、テニスラケットのガットやグリップテープの端材を再利用したテニスラケット型ミニチュアキーホルダー、新作の個性的でかわいいポンポンのキーホルダーなど、すべてがハンドメイドのオリジナル製品です。細かい作業なので、みんな集中して取り組んでいます。ミニラケットは都内を中心にラケットショップ数店舗で販売しているほか、国際テニス大会の会場では公式グッズとして販売されています。

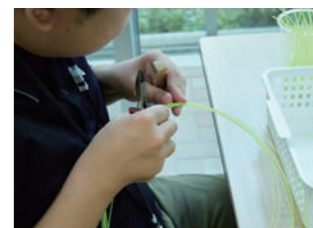
ほかにも、コインランドリーで使用される洗剤類などの箱詰め作業を、慣れた手つきでテキパキとこなしています。

ハロウィンやクリスマスなどの季節行事や秋に行われるわいわい祭は、福田会の他事業所(高齢者施設や児童養護施設、障害児入所施設、放課後等デイサービスなど)の利用者や地域の人々、さまざまな年代の人とふれあう機会にしています。

また、緑豊かな敷地内では、夏にはビワやスイカ、秋には銀杏が実をつけ、フキも自生しているので、季節の収穫を楽しむことができ、利用者の余暇の一環となっています。



食べ終わったスイカの種を毎年蒔いて育てています。大きくなりますように



ミニラケットキーホルダー作成中は、みなさん真剣です



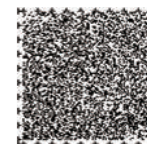
広尾ジョイワークの定番商品ミニラケットキーホルダーです



新作の個性的でかわいいポンポンのキーホルダー

問い合わせ先

渋谷区広尾4-2-12
TEL: 03-6427-6576 FAX: 050-3730-7980
E-mail: joywork@fukudenkai.or.jp
HP: https://www.fukudenkai.or.jp



NPO法人渋谷神宮前
ワークセンターひかわ

取扱商品 軽作業・雑貨

事業区分 就労継続支援B型



大都会渋谷で — 自分らしく 暮らす はたらく



針金アートの制作/根気強く丁寧な作業で平面から立体へと変身します



公園の植栽作業は、四季折々の草花が自然に育つよう丁寧に行っています



「缶バッジ」と「マグネット」は、専用のマシンで一つひとつ手作りです



ワークセンターひかわはシブヤフォントに参加しています

ワークセンターひかわは、民間の福祉作業所として1984年に表参道に誕生しました。

現在は渋谷区ひがし健康プラザに移転し、主に知的障がいのあるメンバーが在籍しています。

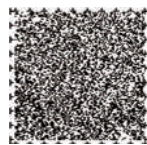
メンバー一人ひとりが、渋谷で暮らし、働くために「しっかり仕事」「楽しくスポーツ・アート」「ゆっくり自立」「元気に地域生活」の4つを支援の柱と考えています。

普段は企業から委託されたダイレクトメールの封入や商品の組み立て、地域の清掃・除草作業を行うほか公園の花壇の管理も行っています。

また、ものづくりの代表作である缶バッジとマグネットは、シブヤフォントへの参加をきっかけに始まりました。シブヤフォントは、ものづくりにとどまらず、メンバーの隠れた魅力、新たな可能性の発見の場にもなっています。月に2回行っているシブヤフォントラボでの出張アートワークは誰でも参加が可能で、交流、実験、チャレンジの場として新たに社会とつながる場にもなっています。興味のある方はシブヤフォントラボでのアートワークを体験してみませんか。楽しいメンバーと共にものづくりを一緒に楽しみましょう。

問い合わせ先

渋谷区東3-14-13 渋谷区ひがし健康プラザ 2F
TEL/FAX: 03-6712-5120
E-mail: hikawa@workcenter-hikawa.org
HP: <https://www.workcenter-hikawa.org>



NPO法人ヒューマンケアクラブストライド
ストライドクラブ

取扱商品 雑貨・コーヒー

事業区分 就労継続支援B型



人との関わりの中で、自分らしい一歩を踏み出す

ストライドクラブの合言葉は「人との関わりの中で、自分自身を見つめる力を育み、自分らしい一歩を踏み出す」です。

施設では、午前中に昼食作りや事務作業など、ストライドクラブを運営するために必要な仕事を分担して行っています。そして、午後にはコーヒー焙煎、ドリッパー作りや手ぬぐいの販売準備を工賃作業として行っています。

コーヒーの作業はシブヤフォントの活動で「ビーンズ・コネクティッド」さんに賞をいただいたことがきっかけで始めました。手ぬぐいの作業もだいぶ前になりますが、渋谷区が区内の手ぬぐいメーカーの「かまわぬ」さんとなつてくださったご縁が続いています。

また、一人ひとりがその人らしく生活できるように、生活面の相談や働くことの相談もしやすい環境を作っています。一般の会社で毎日働くのが難しくても、働きたい気持ちを大切に、渋谷区が超短時間雇用の取り組みを始めてから今まで10名以上のメンバーがストライドクラブに通所をしながら短時間の仕事をしています。

日々の活動は、メンバーもスタッフも横並びの関係で運営するため、お互いに思いやりを持ち、何かをするときはみんなでミーティングをして決定します。ミーティングを通じて人の意見を聞くことや、自分の意見を伝えること、折り合いをつけることを繰り返し、コミュニケーションスキルや帰属意識による安心感を獲得していきます。



注染という昔ながらの染め方で作られたシブヤフォントのアートを使った手ぬぐい



ラベルにシブヤフォントのアートが入ったコーヒードリッパー



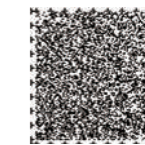
コーヒーは焙煎から袋詰めまでみんな心で込めて行っています



ストライドクラブはシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区松濤1-29-10 渋谷E-BLD201号室
TEL: 03-6455-3628 FAX: 03-6455-3629
HP: <https://strideclubwana.wixsite.com/strideclub>



渋谷区生活実習所つばさ

取扱商品 雑貨・パン

事業区分 生活介護



調理実習や創作活動で人と人の絆を深める

つばさは一人ひとりが豊かな日常生活を送れるように、生活スキルの獲得や、集団生活の中で社会性を身につける支援を行っています。

手先を使う表現・創造活動では、ビーズのコースターやアクセサリ、機(はた)で織りあげるカラフルなポーチ、手作りの和紙など、個性を活かした季節感あふれる商品作りをしています。利用者は、色づかいや素材選びなど、作業の細部で個性を發揮し、細かい作業に興味をもって集中する時間を過ごしています。つばさまつりで毎年販売しているカレンダーは、一枚一枚が手作りです。多くの人に待ち望まれ、毎年完売するため、みんなのモチベーションが上がり、日々の活動の励みになっています。

体力・筋力の維持・向上を目指す運動プログラムでは、散歩、プール、マット運動、トランポリン、バランスボール、柔軟体操、ヨガと、理学療法士や言語聴覚士による機能訓練があります。ほどよい疲労感が夜の心地よい睡眠につながるように工夫しています。

そして、地域の中で絆を深めながら行う活動のひとつが調理実習です。エプロンとマスク、帽子を身にまとい、食材をちぎり、盛り付けをして、調理を楽しんでいます。前日は近隣の商店へ食材の買い物に満面の笑みで出かけます。製パン活動では、炊いたお米・水飴・豆乳を入れて卵・乳製品を使わないアレルギー対応の「つばさパン」と「ココアだパン」を作り、個人への販売とこども園に配達をしています。



花や海の生き物などを、和紙やスポンジでカラフルに表現しました



ペンケース、ポシェットなど絶妙な配色センスが魅力の機織製品です



極小ビーズや個性的な形のビーズが、お洒落なアクセサリに仕上がります



炊いたお米・水飴・豆乳で作った、もちっり絶品パンです

問い合わせ先

渋谷区幡ヶ谷3-39-1

TEL: 03-3378-1150 FAX: 03-3378-1551

E-mail: tsubasar3@shibuyaswc.jp

HP: <https://shibuyaswc.jp/jusan/tsubasa>



今回の座談会に参加された職員のみなさん



渋谷区は、障がい者支援事業所同士の横のつながりが深いことが大きな特徴です。そのひとつが、若手の職員が参加して様々な活動を行う「次世代ネットワーク」。どのようにして生まれ、現在の活動に至っているのか歴代の中心を担う3人の方に語っていただきました。

写真左から 就労継続支援B型事業所 井上さん / 就労継続支援B型事業所 原さん / 障害者就労支援センター 中村さん

若手福祉職員をつなぐ

次世代ネットワーク



事業所同士の

横のつながりを深めて、

福祉で楽しく長く働きたい

原：次世代ネットワークができたのは今から10数年前。私は、渋谷区の事業所の管理者が、情報共有のために集まる作業所連絡会というものに参加していました。すごく勉強になる良い機会だったのですが、そこにいる経験豊かな先輩たちが引退してしまったりどうしよう?と思ったりですね。学んだことを共有する、若い世代に引き継ぐ機会がないなど。そんなことを考えていたとき、事業所の職員の退職者が続いたこともあって、これではいけない、横のつながりを深めれば、その流れを止めることができるのではないかと考えたのが、次世代ネットワークを作ろうと思ったきっかけですね。

中村：次世代ネットワークは、参加者が自由に話し合えるように、管理職は入れないんです(笑)。なので僕は、原さんが管理職になって、ネットワークを抜けるぐらいのタイミングで運営にも加わるようになりまして、それまでは自分がいる事業所のことだけしかわかっていて、そこだけで完結してしまうような経験の積み方しかできていなかった



んですけどね。もちろんそれが悪いわけではないですが、ほかの事業所の人と話す、全く別の視点が得られました。お互いに違う点はあるけど、その違いが面白いなみたいな話ができるようになったのが良かったですね。

井上：僕は実は福祉のことをあまり知らずに事業所に就職したんです。小さな事業所は採用も少ないので、入ってみたら同期のような気軽に話せる仲間もない。もし次世代ネットワークに参加していなかったら、どうなっていたか考えてみます。ここには同世代の仲間がいて一生懸命頑張っているし、わからないことが聞きやすい。福祉とひとことでも言っても、いろいろな場所があるし、いろいろな働き方があるというのがわかったのもここで。次世代ネットワークでの経験は事業所でも活かせることが多くて、なんだか予行演習みたいですね。



原：そういうえば、井上さんの成長は噂になっていきます(笑)。事業所の垣根を越えてそういう声が届いてくるのもいいなと思って。きつかけのひとつは退職者が増えたことではあるのですが、結果的に楽しく長く働く、という気持ち皆さんに根づいてきた感じはします。

中村：このネットワークでつながると、何か困ったときに頼るべき人はすぐ思いつくのですが、つい忙しいかも……と躊躇しちゃったりして(笑)。でも、気にせず何でも聞いてきていいよ、いくらでも助けるよというスタンスが皆の中にできて

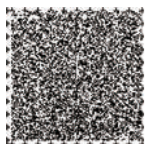


いる。そういう意味で僕たち職員にとっては、課題に対する答えの選択肢が増えました。それがいいのは利用者さんの選択肢の広がりにもつながるので良かったなと思いますね。

井上：僕が今、原さん、中村さんの後を引き継いで第三世代として活動しているのは、原さんが言うように、楽しく長く働く、という軸はブレることなく、そのほかに参加する人たちが自由によっているといかないことなんです。集まる場所も日程もその都度決めてもいいし、これをやってみようというアイデアがあれば、失敗を恐れず気軽に挑戦したい。万が一失敗したとしてもそこからの学びを次に活かせばいいのですから。

中村：僕は、今は管理職として気を遣われる立場になってしまったので運営メンバーとしては参加していませんが(笑)、若い人たちが楽しくそこに活動しているのを見て、うらやましいなあと思っています。これからどうなっていくのか、非常に楽しみです。

原：福祉は本当に楽しい仕事なのに、所属する事業所にいるだけだとなかなか気づきにくいのは事実だと思います。でも、次世代ネットワークでつながった仲間たちが渋谷区にいろいろな事業所に点在することによって、みんなの意識がどんどん変わっていくと思います。



社会福祉法人渋谷区社会福祉事業団
渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所

取扱商品 軽作業・雑貨

事業区分 就労継続支援B型



あたたかい職場で封入作業・アート活動を



補助具を使って封入作業をスムーズに行います



カラフルでぬくもりのある裂織のモチーフを添えた世界に一つだけの雑貨たち



幸せを呼び込む「招きハチ公」は、一つひとつ手作りで形も個性豊かです



のぞみ作業所はシブヤフォントに参加しています

わたしたちのモットーは「みんなで仲良く、明るく、楽しく」「たとえ小さな力でも、きっとできることがあるはずだから」です。一人ひとりが一生懸命働いている職場はとにかくアットホームで、陽気なメンバーが雰囲気を盛り上げてくれています。幡ヶ谷授産場の3階にある作業所は3面が大きなガラス窓で囲まれており、明るく温室のような暖かさで、冬でも暖房がいらぬ日があります。

仕事は封入を中心とするさまざまな軽作業です。クリスマスカードやバレンタインカードなど、封入する商品は季節によって変わります。ダイレクトメールの封入作業には宛名シール貼りがあり、初めは苦手な人もいますが、貼りやすい枠をつくるなどの工夫で、全員ができるように時間をかけて取り組んでいます。

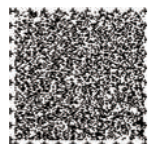
また、2025年度から、ご寄付や企業様から提供いただいた残布などで裂織のモチーフを作成し、それを使った雑貨小物は好評をいただいております。

近隣の3か所の公園清掃には週2回ほど出かけます。特に猛暑の夏は大変ですが、暑さに負けず、地域の人たちに気持ちよく利用していただけるように頑張っています。

このところ自主製品づくり、アート作品制作にも積極的に取り組んでいます。メンバーが住み慣れた地域で安心して生活するために、つながりを大切にしています。

問い合わせ先

渋谷区幡ヶ谷3-53-3 3F
 TEL: 03-3377-3251 FAX: 03-3377-2525
 E-mail: nozomi@shibuyaswc.jp
 HP: https://shibuyaswc.jp/jusan/nozomi



一般社団法人ビーンズ
 テン トーン
TEN TONE

取扱商品 アート・雑貨

事業区分 就労継続支援B型



十人十色の可能性を見出し、自己決定を促す

TEN TONEは笹塚と幡ヶ谷のちょうど真ん中にある、アーティストックでクリエイティブな就労継続支援B型事業所です。

TEN TONEという事業所名には「十人十色」という意味を込めています。「障がいの有無にかかわらず、選択肢の幅は広くありたい」という思いから出発しました。

やりたい仕事に従事し、そこで結果を得ることは自信につながる第一歩です。さまざまな仕事に取り組むことで自身の可能性を発見し、自己決定を促すことを支援の目的としています。

木工、アパレル、アート・クリエイティブの各事業から自分がやりたい、やってみたいと思う仕事を相談し、選択できる事業所です。各事業には、専門性に特化した指導員を配置して指導にあたっています。

仕事内容としては、イラストを描いてレターセットやメッセージカードなどにしたり、アパレルでは、刺繍ブローチやノットイングのラグを制作したりしています。木工では、手触りの良いバターナイフやアクセサリといった木工雑貨など、多岐にわたるオリジナル商品を制作・販売しています。

事業所内は木のぬくもりが感じられる内装にするなど働く空間にもこだわり、通所者一人ひとりが落ち着いて作業に向かうことのできる環境を目指しています。各々の創作意欲を引き出し、抱える課題をいかに乗り越えていくか、支援者と通所者が二人三脚で取り組んでいます。



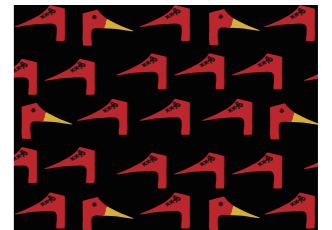
TEN TONEの商品は、個性豊かなハンドメイドの一点物がほとんどです



シブヤフォントや利用者さんの描いたイラストを使用したバッグやポーチ



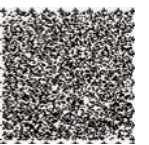
ふんわりと優しい印象に仕上がった「ミノムシブローチ」



TEN TONEはシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区幡ヶ谷1-8-4 リッツパラス1001/1002
 TEL: 03-6276-6181 FAX: 03-6740-7920
 E-mail: tentone@beanshelper.jp
 HP: http://tentone.tokyo



NPO法人絆の会
福祉作業所ふれんど

取扱商品 軽作業・雑貨

事業区分 就労継続支援B型



稀少な手作りスリッパを製造。笹塚商店街でも販売



元気で、ふれんどスリッパを作っています



製品作り作業は集中して取り組んでいます



一人ひとりに合った方法で製作しています



福祉作業所ふれんどはシブヤフォントに参加しています

ふれんどは、2025年現在、27人が在籍しており、主に知的障がいのある人が通所しています。1987年に無認可の作業所として開設し、2009年より就労継続支援B型事業所として法内化されました。

手作りスリッパのほか、織物などオリジナル商品の製作と販売、公園の清掃、花壇の植栽などの仕事を行っています。

ふれんどの手作りスリッパは、当時の筑波大学附属大塚養護学校から作り方を教わって始めました。通所者はクッション素材の糊付け、滑り止めの型抜き、生地のカットなどの作業に携わり、最後の仕上げは専用の機材で行います。この機材が今となっては手に入りにくいので、この方法でのスリッパ製作は全国でも稀だと思われます。

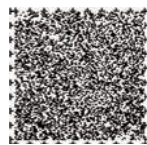
作業活動だけでなく、多くの体験ができるよう、音楽、ヨガ、英語、アート活動などの時間を定期的に継続して取り入れています。

また、笹塚の商店街に近いこともあり、スリッパなどの製品は多くの店で販売していただいています。商店街でハンドベルの演奏を披露したり、馴染みの喫茶店でお茶の時間を作ったり、地域との交流も大切にしています。

「相手の気持ちを尊重する」「嫌がることはしないこと」をモットーに、メンバーそれぞれが活躍できる場所になるよう、毎日力を合わせて活動しています。

問い合わせ先

渋谷区笹塚2-33-9
TEL: 03-3299-2694 FAX: 03-3299-2695
E-mail: kizunanokai@surippa.org
HP: http://friend-kizuna.com



NPO法人むつみ福祉会
むつみ工房

取扱商品 雑貨

事業区分 就労継続支援B型



一人ひとりの個性で風合い豊かな手織物を製作

むつみ工房は、どんなに障がいも重くても、「働いて収入を得る」を実現するために、障がいの種別や程度に関係なく、安心して働ける場所として、地域社会に開かれた施設を目指しています。

主な作業は、手織物を中心とするオリジナル製品づくりと販売です。じっくりと糸を選び、カタンカタンと織りあげた布は、一人ひとりの個性を映して表情も豊か。その布から作られたマフラーやバッグ、ブックカバー、スリッパ「パプーシュ」に、同じものはふたつとありません。「パプーシュ」は工房一の人気商品に育っています。また、造形の時間に描いた絵画をカレンダーに仕立てたり、Tシャツやトートバッグ、手ぬぐいなどに直接絵を描いたりなど、アート力を活かしたさまざまな製品を生み出しています。

製品は併設ショップのほかオンラインショップでも販売しています。大切な人へのプレゼントや、長く使える品として愛用していただけます。

そのほか、古紙の収集や、アルミ缶を回収してつぶすリサイクル事業など、軽作業にも取り組んでいます。

どの作業も一人ひとりのペースを優先しているので、安心して、楽しみながら参加できます。利用者の年齢層は幅広く、アットホームな雰囲気です。多くの方が作業を通じて、安定した生活サイクルを維持できるようになりました。



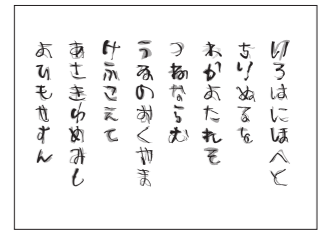
絵画作品以外にもTシャツや手ぬぐいも作っています。こちらも一点モノ



個性を感じさせてくれる色とりどりの織物たち



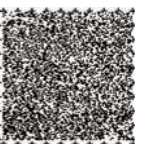
封入やラベル貼りなど、下請け作業にも取り組んでいます



むつみ工房はシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区幡ヶ谷3-44-10 フォレスト3
TEL: 03-5351-9395 FAX: 03-5351-9392
E-mail: mutsumi_kobo@iris.ocn.ne.jp
HP: https://mutsumi-kobo.com



NPO法人はらっぱ ワーク&ショップ〈はらっぱ〉

取扱商品 軽作業・雑貨・弁当・焼菓子 事業区分 就労継続支援B型



手作りのお弁当は区役所でも週2日販売



食べる人のことを思いながら、丁寧に盛り付けています



お野菜豊富、ボリューム満点のはらっぱ弁当



羊毛フェルト製品、特にマスコットのバッグチャームは大人気商品です



規格どおりに衣類を畳み、袋詰めをします

はらっぱは、窓から日射しが射し込む、穏やかな雰囲気の中で過ごせる場所です。通所者のみなさんからは、「陽当たりが良くてメンバーも明るい」「アットホームで話しやすい」「落ち着いている」と言われます。

食品部門では週に2日、手作りのお弁当を製造し、区役所1階で12時から販売、近隣への配達も行っています。仕出し弁当やお菓子はイベントなどの注文に応じて製造していて、「クッキーチョコチップ」や「きゃらまど（キャラクター形の小さいマドレーヌ）」が人気です。

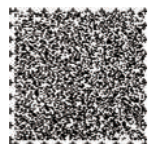
受託作業部門では、Tシャツなどの衣類や服飾雑貨の検品と包装、病院アメニティセットを製作していて、ほかにも羊毛フェルト製品、布製品などの自主商品製作の活動をしています。

月に1回のミーティングは、作業収支も含めて自分たちの活動を振り返り、さまざまな情報を共有する機会です。お花見や日帰り旅行、忘年会などの年間行事は、担当のメンバーが企画・準備、当日の進行まで行っています。

慣れないことや苦手なことも、みんなで協力しながら取り組み、それぞれの個性・力を発揮しています。

問い合わせ先

渋谷区笹塚3-9-3 京王ビル203
TEL: 03-3372-6351 FAX: 03-3372-6357
E-mail: w_s_harappa@yahoo.co.jp
HP: https://harappa.peewee.jp



NPO法人あさのはネットワーク ワークささはた

取扱商品 軽作業・雑貨・各種清掃 事業区分 就労継続支援B型など



「たくさん働き、たくさん遊ぶ」をモットーに活動

ワークささはたは、「働き方には違いがあっても、誰もがもっている社会の中で働く権利を大切に」という考えのもと、一人ひとりが仕事を通して社会に貢献する機会を得ることができるように、多種多様な仕事を行っています。

所内の軽作業は、主に封入、シール貼り、チラシのホチキス留めや挟み込み作業です。出張作業も行っています。工程をいくつにも分けることで、誰もが関わることができ、個々の役割を通じて充実感を得ることができます。納期が短くても、数量が多くても、みんなで協力して達成感を共有することも可能です。所外では、公園清掃、植栽、マンション清掃、トイレ清掃、除草作業を行っています。暑い時期や寒い時期も体調に気をつけながら、汗を拭き一生懸命取り組むことで、働く喜びを感じることが出来ます。

自主生産では、機織りの活動で製織品を作成、販売。また、月に一度陶芸の講師を招いてアート活動を行い、新たな可能性を模索しています。アート活動では、作業時に見られる真剣な表情とはまた違った、明るくやわらかな表情が見られます。

メンバーは、評価され、必要とされることによって、自信をもつことができます。同時に、作業所の経済的保障の一翼を担うことができるようにと考えています。クラブ活動や地域の方々と交流できる「ささはた祭り」、バス旅行やクリスマス&忘年会、新年会や社会見学など、行事もたくさんあります。



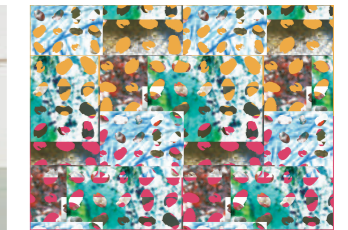
納期までの完成を目指し、みんなで力を合わせています



利用者の絵でオリジナルカレンダーを作成、販売しています



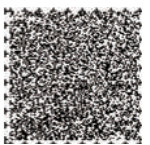
インテリアにぴったりの、世界に1つだけの鉢植えポット



ワークささはたはシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区笹塚3-48-1-1号棟
TEL/FAX: 03-3376-8924
E-mail: sasahata-2@asanoha-net.com
HP: http://worksasahata.com



ふっか
ホープ就労支援センター渋谷 **アトリエ福花**

取扱商品 雑貨

事業区分 就労継続支援B型



みんなの「やってみたい」の夢を叶えるアトリエ

わたしたちは2016年、笹塚にオープンしたアートとモノ作りのアトリエです。知的障がいや精神障がいのある利用者のみなさんが所属し、イラスト・刺繍・ミシンワークなど、それぞれの「好き」や「得意」を活かした作品や商品を作り、発表・販売しています。

ひとつの製品を裁断から縫製まで、メンバーだけでこなすことができるように、デザインや縫製技術などを専門的な知識のある職員が指導しています。

主な製品は小麦粉の入っていた袋をアップサイクルしたバッグやブックカバーなど。また、布のコラージュ製品も人気です。刺繍・ぬいぐるみなど、個性的でパワーあふれる唯一無二の作品を作るメンバーもいます。自由な表現のイラストを使ったシルクスクリーンプリントのTシャツやバッグは、記念配布品などとしても好評です。また、シヤフォントの模様を使用した名刺も製作しています。

わたしたちは表現することは、心の安定や自信につながり、そこからコミュニケーションも生まれると考えています。だからこそ、絵を描いたり、モノ作りをしたりすることで、各自の個性を伸ばし、のびのびと成長できるような指導を心がけています。アトリエ福花は、みんなの「やってみたい」の夢を叶えるアトリエです。

1. 個性が光るアクセサリは、選ぶ時間も身に着ける時間も心が弾みます / 2. 小麦粉袋を生かしたアップサイクル製品を丁寧に仕立てています / 3. 「アトリエ福花」のコムギシリーズ / 4. アトリエ福花はシヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区笹塚2-16-1 TEL: 03-6381-6322 FAX: 03-6383-3255 E-mail: fucca@hopewwj.org HP: https://hopewwj.org

ホープ就労支援センター渋谷 **渋谷まる福**

取扱商品 焼菓子

事業区分 就労継続支援A型



「日々の積み重ね」が、確かな力に

わたしたちは「おいしくて安心で、身体に心に優しい」をコンセプトに手作りのお菓子を製造・販売しています。そのため、材料は国産を中心に使用。できるだけ添加物を使用せず、マーガリンやアルミニウム入りのベーキングパウダーは使っていません。

利用者のみなさんの障がいはさまざまですが、得意不得意を互いに補い合える職場を目指しています。お菓子作りはプロの職人が、上手く作るコツや、時間がかかっても失敗せずに作る方法などをわかりやすく丁寧に指導します。そうすることで最初は戸惑っていた利用者のみなさんも、徐々に短時間で作業を仕上げるようになるなど、日々の努力が着実に実を結んでいることを実感しています。

お客様から「おいしかった」「また買いたい」といったお声をいただくことが、わたしたちの何よりの励みとなっていて、利用者のみなさんの表情にも自然と笑顔が増えています。今後も、それぞれの「できること」を増やし、「働くよるこび」を育てていけるよう、支援体制の充実を図っていきたくと思っています。

1. 一つひとつが利用者のみなさんの手作業です / 2. 細部まで心を配りながら、手際よく丁寧に仕上げていきます / 3. シヤフォントを使ったのし紙は、用途に合わせたオーダーも可能です / 4. 個包装なので手作りの美味しさを気軽に楽しめます

問い合わせ先

渋谷区笹塚2-16-1 TEL: 03-6300-5240 FAX: 03-6383-3255 E-mail: marufuku@hopewwj.org HP: https://hopewwj.org

ホープ就労支援センター渋谷

渋谷ハチ公そば

取扱商品 そば・焼菓子

事業区分 就労継続支援B型

問い合わせ先

渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所本庁舎1F
TEL: 03-5422-3620 E-mail: info@hopewwj.org
HP: https://hopewwj.org



わたしたちは、渋谷区役所の1階で、北海道の農家直送の蕎麦粉を使った、風味豊かな蕎麦を提供するお店です。無添加の秘伝のそばつゆや、なたね油とごま油の風味が利いた揚げたて天ぷらも自慢のひとつです。

利用者のみなさん同士で作業をフォローしあう中で、できることがどんどん増え、今では「これでもできるようになりたい」とレベルアップを望む人も多くなりました。そうした頑張りが実を結び、老若男女、外国の人まで幅広いお客様から好評をいただいています。

最初は言葉選びが難しかった人も、今では自分の言葉でいろいろな話をしてくれるようになりました。これからも、利用者のみなさんがハチ公そばを自分の居場所だと感じることができ、より成長できる環境づくりを目指します。



(左) 水と蕎麦粉のみを使用した十割蕎麦です。毎朝お店で打っています。蕎麦打ちは利用者のみなさんも行っていきます (右) 人気メニューの天せいのほか、季節のメニューも用意しています

取扱商品 雑貨・焼菓子

事業区分 生活介護など



自然の素材と自分を活かして創る・発見する

はあとぴあは生活のベースに音楽療法を取り入れながら、7つの工房で紙すきや藍染めなど、さまざまな活動を行っています。施設での暮らしや活動を通して、一期一会の出会いがあり、長く続いている交流があり、その中で、自分自身の持ち味に気づいたり、ほかの人の活動への取り組み方に刺激を受けたりしています。手応えを実感できる仕事や、自分が果たしている役割に伴う充実感は、一人ひとりの表情にも表れます。笑顔で、ゆったりとした気持ちで過ごせることを大切に、その中で、活動への意欲が湧いてくるように心がけています。

音楽療法では、少人数で身体を動かしたり、歌ったり、楽器を奏でたりといった時間を定期的に設け、その時間を待つ楽しみも含めて生活のベースが生まれています。レクリエーションやマット運動、散歩といった毎日の運動を続けることで、仲間と一緒に心地よい疲労感や開放感を得ることができます。屋上菜園では、春・夏野菜を中心に栽培・収穫・販売の流れも定着し、一人ひとりが力を発揮する場面があります。菜園の植物の繊維を和紙の素材にしたり、雑草に着目した創作を考えたり、園芸活動と創作活動の接点も見えてきました。製菓活動もリピートされるお客様が増えました。自然の素材を活かした藍染めや織りの創作活動は、各々の個性が活かされるように仕上げられています。手作りならではのあたたかみを感じられる製品はプレゼントにも最適です。



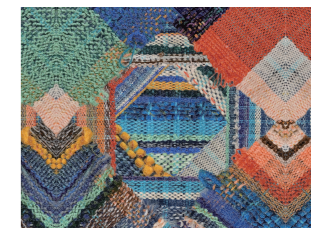
屋上を利用した野菜栽培



刺繍/この他にもさまざまな創作活動をしています



織り機を使った織物はとても好評です



はあとぴあ原宿はシブヤフォントに参加しています

問い合わせ先

渋谷区神宮前3-18-37

TEL: 03-5412-0050 FAX: 03-5412-2355

E-mail: heartpiaharajuku@sand.ocn.ne.jp

HP: https://www.yuaigakuen.or.jp/office/heartpia-harajuku

今回の座談会に参加された職員のみなさん



渋谷区の障がい者支援事業所で働く若手職員の集まりである次世代ネットワーク。情報交換はもちろんのこと、仕事の悩みを打ち明けたり、事業所の垣根を越えて助け合ったりするなど渋谷区の福祉を支える大きな力になっています。どのような活動を行っているのか、現役メンバーにお話を伺いました。

写真左から 就労継続支援B型事業所 井上さん/就労移行支援事業所 林さん/生活介護施設 高橋さん

若手福祉職員をつなぐ

次世代ネットワーク

v.1.2



次世代のつながりが、職員・利用者の選択肢を広げる

井上：僕が先輩に誘われて次世代ネットワークに参加するようになったのは、入職して一、二カ月のことでした。業態の異なる事業所から来た人たちが、仕事のことだけではなく、当たり前に趣味のことなどを気さくに話していて、仲間良いことに驚きました。渋谷区って良いなと思ったのを覚えています。

高橋：僕のイメージとして障がい者支援は、基本はひとつの事業所で完結していて、足りないところをほかの事業所で行っているサービスで補ってもらうくらいだったんです。でも、次世代ネットワークに参加してみると、皆さんというフラットに話せて、頼ったり頼られたりしていいんだというのに気づかされました。とても助けられています。

林：次世代ネットワークにはいろいろな立場、業態から参加している人がいて、福祉の楽しい部分、難しい課題などについて共有できるのがいいですね。実は私は大学で福祉を学んできたのですが、今さらながらですけど、私は福祉が好きなんだなと改めて思うことができたのは大きいです。

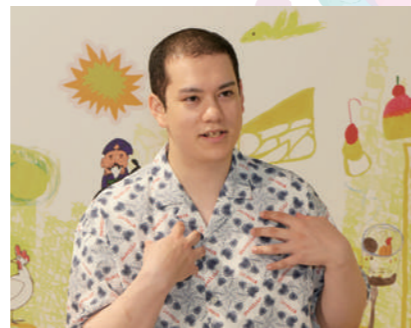


井上：利用者さんの中には、グループホームに入居していて、僕のいる事業所に働きに来ている人もいます。僕たちが事業所の垣根を越えてつながりを持っていると、情報交換を通じて、より利用者さんのためになる提案などができますよね。仕事の面でもやりやすくなったと感じます。

高橋：僕の働く事業所では水耕栽培で野菜やハーブを育てているのですが、井上さんの事業所で販売してもらっています。きっかけは次世代ネットワークが行っている交換研修で、僕が研修に行くと井上さんと出会い、水耕栽培の話をしたことでしたよね。野菜を納品していくのを利用者さんも楽しみにしていて、僕たちのそういった深いつながりが、職員以外の人にもよい影響を与えているのは嬉しいですね。

林：私も、交換研修はとても勉強になるなと思っています。行った先の事業所の良さがわかる一方で、逆に自分の事業所の強みはここだなと発見することもできています。交換研修で視野が広がったことで、利用者さんからの信頼度も増し、安心できます。という声をいただいたこともあるんです。

井上：次世代ネットワークでは、自分たちで何かを企画して運営する取り組みも行っていますが、細かい事務手続きとか、これ、どうしたらいいんだろって思うことも多い。そういう時も、

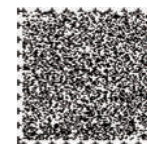
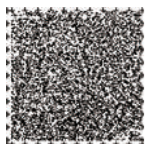


に聞ける人がいるのが心強いです。

高橋：自分の所属する事業所だけで完結していると、何かあったときに行き詰まってしまうような気がします。僕は福祉の仕事をするようになって三年ほどですが、これから壁にぶち当たることもあるでしょう。そんなときでも次世代ネットワークのようなつながりがあれば、乗り越えていけるのではないかと気がします。メンバーと話していると気持ちも楽になりますから、長く働くための足がかりとして機能すると良いと思います。

林：次世代のつながりって、結束力の強いコミュニティのような一面がありますよね。私は、事業所に所属している自分と、ネットワークにつながっている自分という感覚があって、居場所のある安心感を得られています。障がい者支援は事業所だけではカバーできないこともあるので、今後は医療関係など、さまざまなサービスに従事する人ともつながっていきたいですね。

井上：次世代ネットワークは、管理職の人以外も誰でも参加してつながれるコミュニティです。最初はハードルがあると感じるかも知れませんが、入ってしまえば良い意味で楽しく集まっていますので、是非みなさん、気軽に参加していただきたいですね。



社会福祉法人睦月会
Seamless Support Labs インフィニティ
 (渋谷区りばあさいど原宿)

取扱商品 カフェ

事業区分 生活介護など



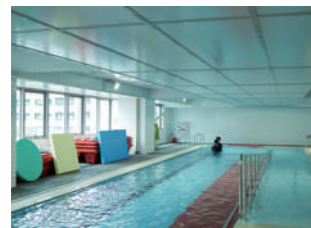
多くの地域と協働し、地域貢献・地域交流を



収穫した野菜はカフェで使用するため、カフェへ届けるまでが仕事です



光や音を用いて感覚刺激による身体機能のリラクゼーションを図る場



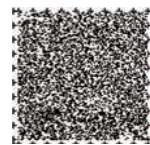
好きな音楽を聞くなどリラックスした状態で水に入れるよう工夫しています



カフェに置く日替わりランチのメニュー表を作成中

問い合わせ先

渋谷区神宮前3-18-33
 TEL: 03-5843-0751 FAX: 03-5843-0732
 E-mail: shibuya@mutukikai.or.jp
 HP: <https://www.mutsukikai.jp>



認定NPO法人よりどりみどり

みどり工房

取扱商品 食堂運営・清掃軽作業・雑貨・弁当・焼菓子

事業区分 就労継続支援B型



ランチやお弁当は家庭的な味わいが常連客に人気

みどり工房は、主に精神に障がいのある人の社会復帰を目指して、さまざまな就労継続支援を行っています。主たる事業所と従たる事業所の2か所があり、主たる事業所では、革製品・七宝焼きなどの手工芸品製作、受託作業(清掃、袋詰めなど)・名刺印刷などの事務作業を行い、従たる事業所では「みどり食堂」として地域のみなさんへ手作りのランチやお弁当・焼き菓子などを販売提供しています。地域の食堂として、家庭的な味と健康に気を配ったバランスの良いメニュー内容は、常連のみなさんに愛されています。

地域との交流活動として、毎月第4金曜日に千駄ヶ谷社教館で、誰でも参加できる交流食卓会「どなたでも食堂」を開催。ボランティアや家族など一般の方々も参加可能な精神保健福祉に関する講座も企画しています。

また、通所者の社会体験を増やすために、パソコン教室や心と体のバランスを整えるプログラム(健康づくり)、自主製品の開発や就労準備のための講座(お仕事探検隊)などのグループワークも行っています。

就業に向けた技能の習得だけではなく、地域との交流やみどり食堂での接客を通じて人と人のつながりの大切さを学び、ソーシャル・スキルを高めることも活動の大きな目標のひとつです。障がいを特別なこととはせず、共に歩める社会を作るために、地域に開かれた活動をこれからも進めていきたいと思っています。



食事がさらに楽しくなるようにいろんな柄の箸袋を折ります



お野菜いっぱいの日替わりメニュー、心をこめて手作りにしています



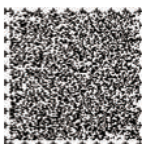
みんなで考えた、心と身体をいやすハーブティー。珈琲もどうぞ



一つとして同じ顔はありません。手に取っていただける出逢いを待っています

問い合わせ先

渋谷区千駄ヶ谷1-21-6
 TEL: 03-6459-2347 FAX: 03-6459-2348
 E-mail: info@midori-kobo.org
 HP: <https://npoyoridori.wixsite.com/npoyoridori>



一般社団法人ローランズプラス
ローランズ原宿店

取扱商品 生花・カフェ

事業区分 就労継続支援A型



誰もが自分色に花咲くことができる社会を目指して



障がいや難病と向き合うスタッフが一つひとつ手作りしています



ドライフラワー商品の一部



ローランズ原宿店〈店舗内観〉



ドライフルーツのギフトセット

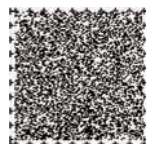
ローランズは、「みんなみんなみんな咲け」のスローガンを掲げた、原宿と天王洲に店舗のあるフラワー&グリーンショップです。主に精神障がいをもつ就労継続支援A型枠のスタッフが生花やドライフラワーのアレンジや制作をしています。また、原宿店はカフェも併設し、カフェでの調理、接客も行っています。花をモチーフにしたスムージーや食べられる花のオープンサンドをはじめ、ランチタイムにはカレーやリゾットを提供、新メニューのタコライスも人気です。

わたしたちは、障がい者雇用や福祉といったイメージではなく、街の人や原宿を訪れた観光客が、花と緑に触れてリラックスできるお店を目指しています。将来的には一般企業での就労を目標としているスタッフもいます。失敗を恐れず、さまざまなことにチャレンジすることでスタッフたちは自立心と自信を身につけていきます。また仕事に集中することは気分転換にもなります。働くだけでなく、楽しむこと、悩みを相談できる仲間を作ることも大切にしています。

当初より障がいのある人の働きをカラフルにすることを目指して、LGBTQやシングル家庭の人なども共に働いています。ほかの企業とコラボをしながら、ドライフルーツの加工、植栽メンテナンス、オフィスグリーンなどの空間デザイン、モデムやアパレル資材などを活用した資源再生事業など一人ひとりに適した仕事で、誰もが自分色に花咲くことができる社会を目指したいと思っています。

問い合わせ先

渋谷区千駄ヶ谷3-54-15 ベルズ原宿ビル1F
TEL: 03-6434-0607 FAX: 03-6434-0608
E-mail: info@lorans.jp
HP: https://lorans.jp

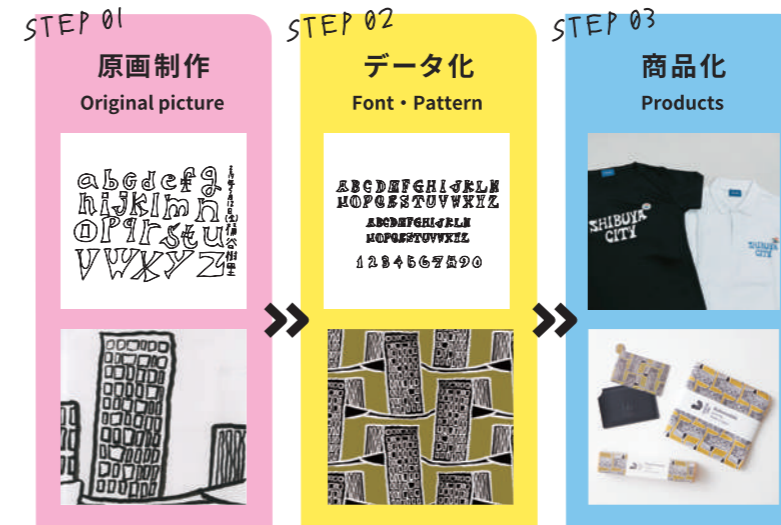


シブヤフォントとは?

渋谷区からひろがる、 福祉と社会とのつながり

「シブヤフォント」とは、渋谷で暮らし・働く障がいのある人の描いた文字や絵を、渋谷でデザインを学ぶ学生がフォント(文字)やパターンデータにする取り組みです。2016年から始まったこの取り組みで生まれたフォントやパターンのデータは、渋谷区公認のパブリックデータとしてさまざまな活用を広げると共に、データ利用料の一部を福祉施設等へ還元して社会とのつながりをつくっています。

SHIBUYA FONT



シブヤフォントの取り組み

- STEP 01
障がいのある人が学生と一緒にアートワークを行い、文字やアートを制作
- STEP 02
完成した作品を学生がデザインデータ化
- STEP 03
企業や個人がデータを使用した商品を作るなどの商用利用によって活用する
- データ利用料の一部が障がいのあるアーティストの働く施設などへ還元される

SHIBUYA FONT LAB

2024年に東急プラザ原宿「ハラカド」の7階にオープンした「シブヤフォントラボ」は、渋谷区のダイバーシティ&インクルージョンの理解浸透のための多目的スペースとして運営しています。また、シブヤフォント制作に参加している障がい者支援事業所のアートワーク、ものづくり実演、自主製品の販売、ワークショップを行い、来場者と障がいのある人の交流の場にもなっています。



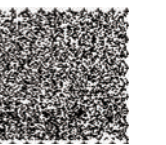
〈シブヤフォントラボ〉 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-31-21 東急プラザ原宿「ハラカド」7F
TEL: 03-6910-8960 営業時間: 11:00~18:00 / 火~金 第1・第3土日

シブヤフォントについて詳しくはWebサイトや公式SNSをご覧ください
<https://shibuyafont.jp>

Web



Instagram



シブヤフォントは、渋谷区、専門学校桑沢デザイン研究所、渋谷区内の障がい者支援事業所によって生み出され、一般社団法人シブヤフォントが運営しています。

Connect with SHIBUYA

シブヤとのつながりカタログ vol.2

2026年2月発行

発行元 渋谷区

〒150-8010 東京都渋谷区宇田川町 1-1
TEL 03-3780-9656 / FAX 03-5458-4935
<https://www.city.shibuya.tokyo.jp>

